

様式第3号（第4条関係）

バルク供給設備の技術上の基準

（バルク貯槽による貯蔵能力が500kgを超え1,000kg未満のものに限る）

1. 貯槽の設備状況	
2. 貯槽の適合性	
3. 保安距離	①第1種保安距離(法定1.5m・構造壁等又は埋設設置 0m) 実際距離 m 保安物件の名称 ②第2種保安距離(法定1.0m・構造壁等又は埋設設置 0m) 実際距離 m 保安物件の名称
4. 構造壁等	壁の構造 材料 寸法(高さ) m(幅) m
5. 貯槽の表示	
6. 腐食防止措置	
7. 転倒防止等の措置	
8. プロテクター内のガス漏れ検知器の設置等	
9. 火気等との距離	①火気等との距離 m ②火気距離が2m以内 防火壁等の設置の有無

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

様式第3号（第4条関係）

バルク供給設備の技術上の基準

（バルク貯槽による貯蔵能力が500kgを超え1,000kg未満のものに限る）

1. 貯槽の設備状況	<p style="text-align: center;">コンクリート基礎地上設置 等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・規則第19条第3号イ バルク貯槽は特定設備検査合格証又は特定設備基準適合証を有するものであること。 ・写しを添付すること。
2. 貯槽の適合性	<p style="text-align: center;">特定設備検査合格証（発行番号〇〇〇〇）を添付 等</p>	
3. 保安距離	<p>①第1種保安距離（法定1.5m・構造壁等又は埋設設置 0m） 実際距離 1.2m 保安物件の名称 〇〇小学校</p> <p>②第2種保安距離（法定1.0m・構造壁等又は埋設設置 0m） 実際距離 10 m 保安物件の名称 一般住宅</p>	
4. 構造壁等	<p>壁の構造 材料 コンクリートブロック等 寸法(高さ) 3.0m (幅) 4.0m</p> <p>バルク供給・充てん設備告示第2条 ①構造壁等の設置は最大2方向まで ②下部は地盤面に設置 ③投影されたバルク貯槽の縦横より1m以上の長さ ④開口部がないこと</p>	
5. 貯槽の表示	<p style="text-align: center;">LPガス・火気厳禁（朱書）、緊急連絡先</p> <p style="text-align: center;">規則第19条第3号ハ(9)⑩ ・液化石油ガス又はLPガス及び火気厳禁と朱書 ・緊急連絡先を表示</p>	
6. 腐食防止措置 <small>バルク供給・充てん設備告示第10条</small>	<p style="text-align: center;">貯槽下地処理、錆止め塗装2回、上塗り塗装2回 基礎の高さ地盤面から5cm以上打設 等</p> <p style="text-align: right;">基礎部分が写った写真を添付すること</p>	
7. 転倒防止等の措置	<p style="text-align: center;">アンカーボルト固定 等</p>	
8. プロテクター内のガス漏れ検知器の設置等	<p style="text-align: center;">バルク用警報器 〇〇〇〇設置 等</p> <p style="text-align: right;">バルク供給・充てん設備告示第15条第2項 ・ガス漏れ検知器を設置しなくてもよい場合 (例)漏えいの有無の確認を3カ月に1回以上実施するのであれば、貯蔵量に関係なく設置しなくてもよい</p>	
9. 火気等との距離	<p>①火気等との距離 〇〇 m</p> <p>②火気距離が2m以内 防火壁等の設置の有無</p>	

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。